

ブルーソーラー サンボ

Blue Solar SUNBO

全自動耐圧・オールシーズン使用可能

タンク式



集熱式

**厚さ増強チタン三層構造 (タンク式)**

タンクの中瓶はアメリカ製ホーローの原料及び技術を採用しました。内側三層組み合わせ技術を取り入れたことから、耐圧、耐腐食、耐冷熱衝撃性能は通常のソーラー中瓶の3~5倍であり、表面は滑らかできめ細かく汚れや細菌を防止するため、衛生的かつ健康的です。

全金属密閉、全システムが耐圧構造 (タンク式)

特許密閉技術を採用し、タンク中瓶が完全に密閉されているため、全システムの耐圧運用が可能です (一般ソーラーシステムはゴムパッキンを使用しているため劣化しやすい)。また、個別のガラス真空管の破損による全体システム運行への影響はないのが特徴です。

超熱伝導管技術

二重真空技術を採用し、集熱効率を高めました。また保温性能が良好であり、熱伝導の媒体を負担なく運用することが可能です。日射強度が 580Kcal/h の場合は最短 10 秒で稼働でき、現在最先端のソーラー集熱技術の一つです。

電気補助加熱システム (オプション)

専用の電気補助加熱システムにより、365 日全天候稼働が可能です。

全自動制御システム

水温表示/時間表示/故障表示/断電記憶/定時加熱/水温設定/自動加熱/パイプライン保温/超白光 16:9 液晶表示

設置例



仕様

タンク式

製品	集熱管 (mm)	本数	集熱面積 (㎡)	タンク容量 (ℓ)
BSS-120-7	Φ102×2000	7	2.1	120
BSS-160-9	Φ102×2000	9	2.7	160
BSS-200-11	Φ102×2000	11	3.3	200

集熱式

製品	集熱管 (mm)	本数	集熱面積 (㎡)	タンク容量 (ℓ)
BSS-10	Φ102×2000	10	3.0	180
BSS-20	Φ102×2000	20	6.0	360
BSS-30	Φ102×2000	30	9.0	540

※仕様は予定なく変更することがあります。

製造・販売元

株式会社 エコマックス ジャパン

〒089-1247 北海道帯広市昭和町東 5 線 113 番地
TEL 0155-64-5826 ・ FAX 0155-64-5736<http://www.hokkaido-eco.com> ・ E-mail : info@hokkaido-eco.comBlue Solar
Sunbo

Blue Solar Sunbo



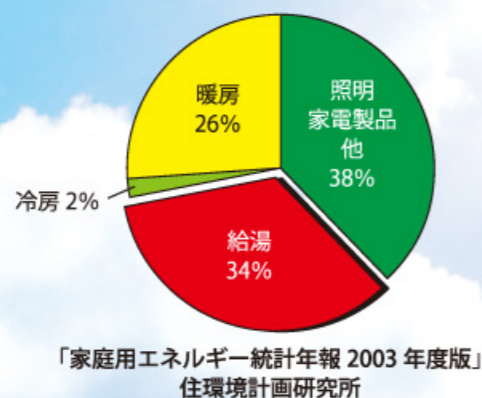
ソーラー温水器

株式会社 エコマックス ジャパン

ソーラー温水器・集熱器のメリット

給湯用コストを大幅に削減

一般的な家庭が一年間に消費するエネルギーの30～40%が給湯用と言われており、標準的なソーラー温水器・集熱器を使用することで給湯用エネルギーの約80%を削減することができます。



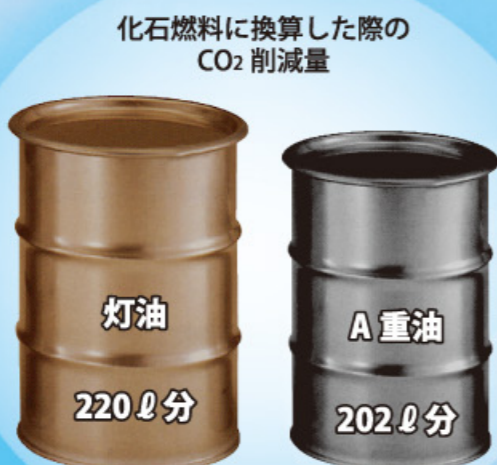
ソーラー温水器・集熱器は高効率

ソーラー温水器・集熱器は太陽光エネルギーの変換効率が約40～60%であり、ソーラー発電の変換効率約7～18%に比べ、非常に効率が高いことが特徴です。

CO₂ 排出量の削減に貢献

CO₂ 排出ゼロのグリーンエネルギーを利用したソーラー温水器を活用することは、私たちの大切な地球環境を守ることに繋がります。

一般家庭で1年間に排出されるCO₂は平均約5,500kgですので、ソーラー温水器・集熱器を使用することによって、約10%を削減できる計算になります。化石燃料に換算すると、灯油約220ℓ、またはA重油約202ℓを燃焼させたときに排出される二酸化炭素の量に相当します。



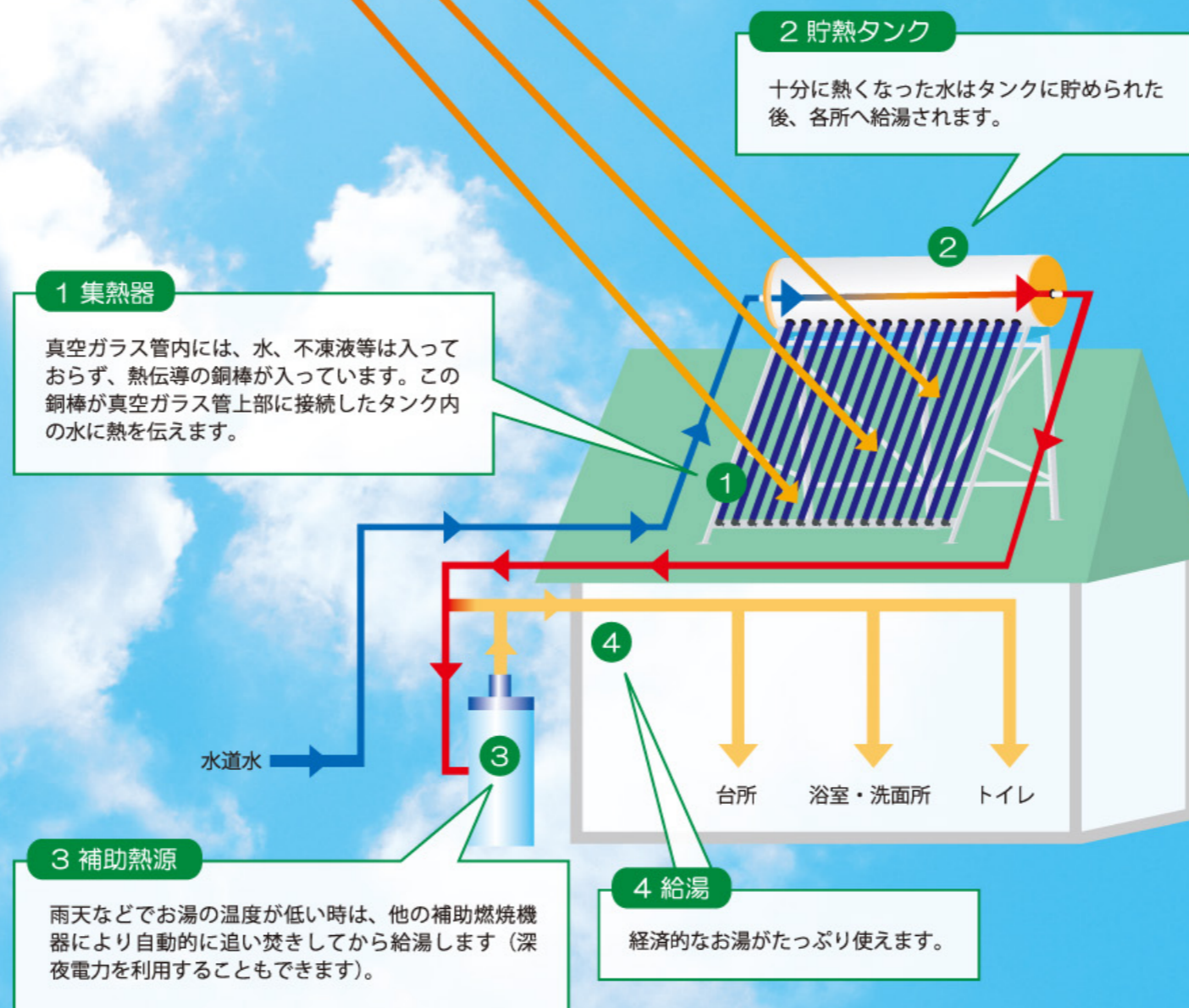
枯渇することの無いエネルギー

地球上に降り注ぐ1時間の太陽光エネルギーは、全世界の年間のエネルギー消費量に匹敵します。その豊かなエネルギーを使用するシステムです。

エコとコストに配慮したお湯を生み出します

ソーラー温水器・集熱器とは?

- 集熱器により太陽光を熱エネルギーに変換し、不凍液などの熱媒体を暖め、お風呂や台所の給湯や冷暖房に利用するシステムです。
- 真空ガラス管は魔法瓶のような構造をしていて外気温に左右されにくいので、冬でもお湯が使用できます。
- 設置後はただ蛇口をひねるだけで自然の温もりあふれる、たっぷりのお湯をお使いいただけます。



設置システム

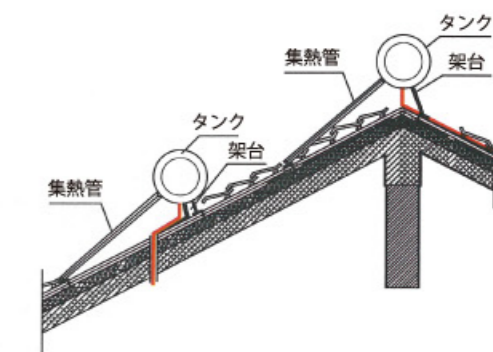
本システムは、建築タイプが高層、一部中低層ビル住宅、個別使用・戸別管理方式に適します。設備の初期投資は低いです。管理費は若干高めです。屋上建築への影響と一定の条件が求められ、メンテナンスを屋上で行う等、設置者の自己管理に関しては手間を要します。

メリット

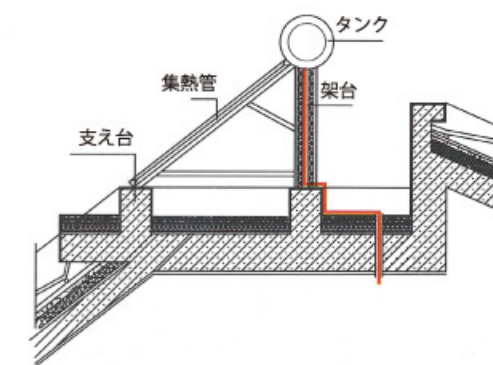
- 他の真空管システムに比べ熱交換効率が高いことが特長です。
- 真空管が傾斜しているため平板に比べゴミが附着しにくく、また雪の影響を受けにくい構造です。
- 太陽光が熱源のためランニングコストは低く抑えられます。
- 水圧に影響されにくく、冷水と温水の圧力バランスが保たれます。自動給水により水位のコントロールを必要としないため、設置後のメンテナンスが少なく済みます。
- 真空管が一部破損しても使用可能です。

デメリット

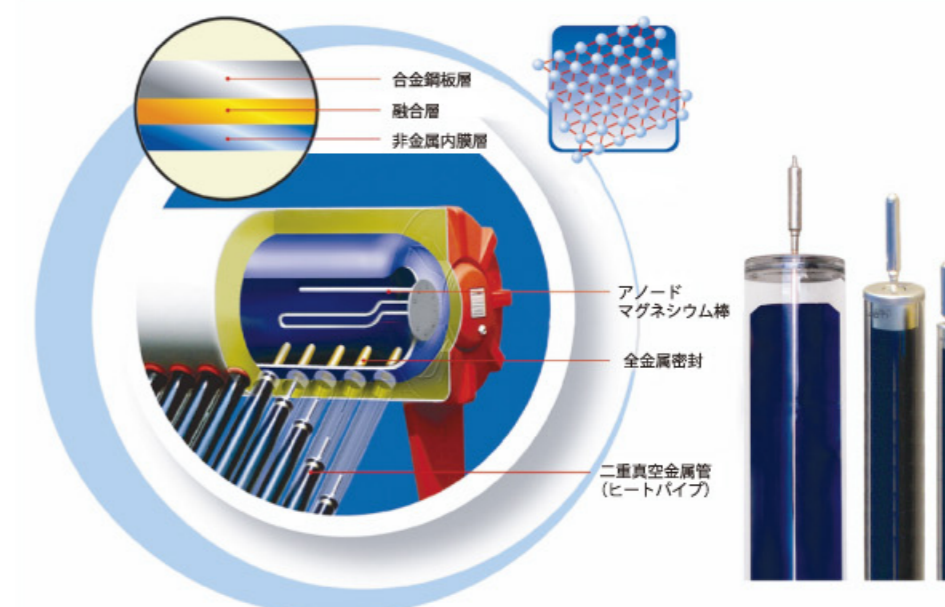
- 集熱タイプの初期投資（設置費用）はタンクタイプに比べ若干増加します。
- タンクタイプに共通の問題として配管の冷水問題があり、階層が低いほど冷水放出量が増えます。もしパイプラインの循環を組み合わせた場合、設置後のメンテナンスが増えコストも増加します。
- 屋上室外の冷温水パイプラインの保温のため、ヒーター線の継続修理及びメンテナンスが必要です。
- タンクタイプを屋上に設置する場合は、建築物との調和に難があります。また各世帯のソーラーシステムはそれぞれ独立しており、問題が生じればその都度屋上に登って修繕する必要があります。



屋上斜面設置構造 (1)



屋上斜面設置構造 (2)



今後のメリット

全自動ソーラー温水器の発展傾向としては、独自の耐圧設計により水道水のパイプラインとの直結が可能となり、水道水の圧力を利用して自動的に給水と取水ができるようになります。

- 毎日朝晩の給水の手間が省略できます。
- 自動給水コントローラーの故障が低減します。
- 水溢れが回避できます。
- 待機時間がなく随時使用可能です。